



【第3回 檜邑小学校運営協議会 開催！】

令和6年12月10日(火)13:45~16:45

今回は、初めて全校英語の授業を参観しました。檜邑小だからこそできる全校での英語学習。REDWINE 先生と子どもたちのやりとりにほっこりする場面もありました。その後、アンケートの結果や KASHIMURA 未来会議2024、150周年に関する事業等について協議をしました。第2回同様、「檜邑学区心をつなぐ地域活動推進委員会」より、山崎茂様にご参加いただきました。今回も予定より約1時間超過となる白熱した協議が行われました。次回の開催は、令和7年2月25日(火)の予定です。「真庭市学校運営協議会規則第14条 会議の公開」により、「協議会は特別の事情がない限り、公開とする」となっています。傍聴のご希望がありましたら、学校までご相談ください。

かしむら コミュニティ・スクール つうしん

令和6年12月号 檜邑小学校運営協議会 発行 (文責：山本信子)



【授業を参観して】

- ・楽しそう。自然な形で英語に慣れ親しむ様子を感じた。英語に関わるのは良いことだと思う。
- ・このような環境で英語ができる幸せを感じる。ALTの先生がいろいろな準備をしてくださっていてありがたい。
- ・いろいろな人が地球上にはいることを異文化理解も含めて、知ってほしい。
- ・全校で授業をするとにぎやか。生き生きしている。先生を頼る場面も見られたので、個々の力をしっかりつけていってほしい。照れもあってか、はにかむ様子も見られた。もっと前を向いて、声の大きさも大きくなるとよい。

【その他協議】

- ・三校交流会について→高学年になったら、中学校進学を踏まえて、増やしてはどうか。
- ・体育について→大人数でないと経験できないスポーツを経験させてやりたい。(野球・ソフトボール等)
- ・APおよびアンケート結果→「自分によいところがある」と自信が持てたらよい。
- ・来年度の予算→今年度と同程度。 来年度の委員→同数で構成できるとありがたい。

檜邑学区秋季連合運動会(昔の競技等)および檜の里きらきら発表会(卒業生ステージ等)には、大勢の方が足を運んでくださり、ありがとうございました。お陰様で盛大に行え、楽しい行事となりました。深く感謝いたします。

【150周年に関する今後の行事予定】

令和7年1月18日(土)

9時~ マラソン大会(雨天時はポッチャ大会)

10時頃~ もちつき・鍋大会(雨天時も実施)

令和7年3月16日(日)

8時頃~9時30分頃

気球に乗ろうイベント(予備日:20・23日)

9時30分頃~11時30分頃

にしいろ夢商店イベント(ワークショップ・駄菓子)

10時~11時30分

滋澤寿一氏講演会「檜邑と私たちの未来に向けて~持続可能な地域を考える~」

11時30分~12時頃 ビンゴ大会

詳細については別紙チラシをご覧ください。



【KASHIMURA 未来会議2024】 令和6年11月15日(金)開催

今年度より学校運営協議会主催で開いた KASHIMURA 未来会議2024。榎邑学区内外より約30名が、榎邑小学校ランチルームに集まって、対話を繰り広げました。真庭市郷育魅力化コーディネーターの森年雅子さんを講師にお迎えし、学校を核とした地域づくりの観点から、「榎邑小学校のイチオシ活動」を各グループで挙げ、イチオシポイントと無責任アドバイスを付箋に書いて交流しました。イチオシ活動として挙げたのは、「きらきら発表会」(2グループ)「運動会」「PTA 活動」「子ども主催のイベント」「子どもと大人の共学」です。それぞれにイチオシポイントがありますが、共通して次のようなポイントがあるように感じました。

○つながり(子ども同士・大人同士・子どもと大人・地域と地域・地域と学校・地域と家庭・学校と家庭・家庭と家庭 等)

○子どもたちがいきいき ○大人たちもいきいき ○楽しい

無責任アドバイスは、活動の内容に関することやPR のこと等、それはそれは無責任に(笑)やりたいこと、やってみたいこと、あったらいいなと思うこと等たくさんの意見が出されていました。子どもたちにも会議の内容を伝え、イチオシポイントと無責任アドバイスを子ども目線で考えました。大人と同じハートの模造紙に貼っています。無責任とはいえ、このアドバイスの中には、今後に生かせるヒントが満載です。イチオシポイントを大切にしながら、さらに工夫を加えた活動ができるといいです。講師を務めてくださった森年さん、参加してくださった皆様、大変ありがとうございました。榎邑小学校1階廊下に掲示しています。ご来校の際には、ぜひご覧ください。

【KASHIMURA 未来会議2024に関する感想および意見】

- ・いろいろな人のいろいろな意見が聞けた。榎邑って愛されているんだなと感じた。安心感があった。若い人の参加があったのが嬉しかった。
- ・やろうという気持ちになるのが大事。1つでも2つでも実現できるといい。
- ・楽しい、素晴らしい学校だと改めて思った。榎邑小をもっと知ってほしい。
- ・イチオシポイントがばらけていたことに驚いた。いろいろな取組が評価を受けている証。
- ・学校だけでは枠が広がらない。さまざまな立場の方からの意見は貴重。
- ・やりたいことや可能性が意見として出るのはいいことだと思う。
- ・地域の人に伝わっていけばよい。未来会議を続けていけるとよい。
- ・今後は、学校のことだけでなく、榎邑地域全体のことをみんなで考え、協議できるとよい。



子ども主催イベント

PTA活動

共学